



笠木

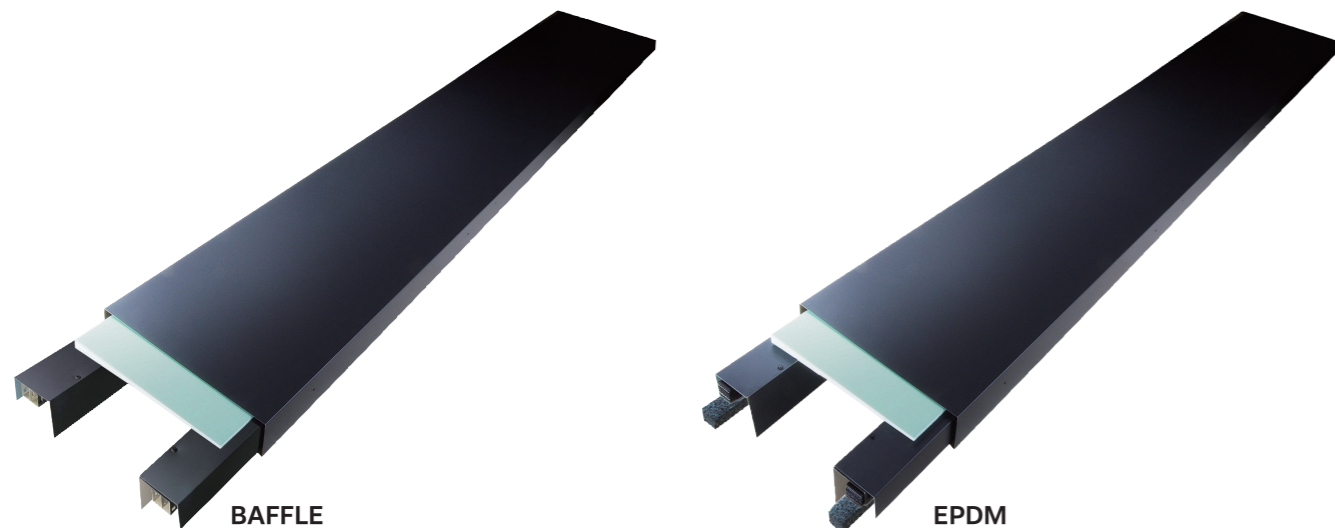
パラペット用外壁通気資材

アンタレス・ホールレス・パラペットキャップII (AHPCII)

耐用年数
30年

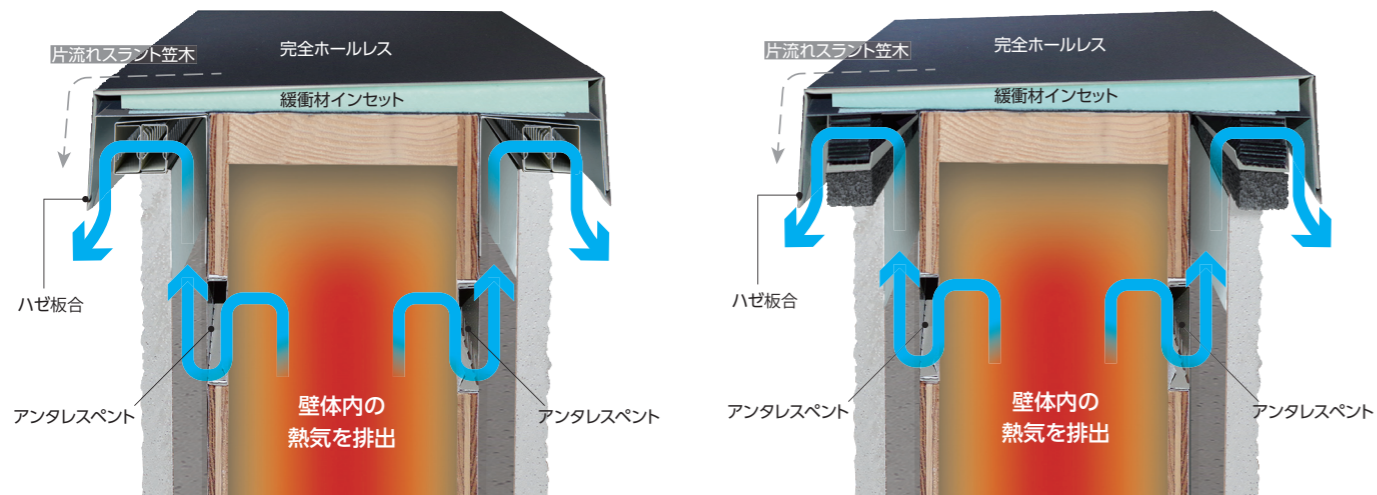
AHPCII B (バッフル)

AHPCII SL (シールレス)



製品の概要

現在住宅のバルコニーの手摺壁の上端部の納まりは、大きく分けると防水優先の密閉系か、通気・換気優先の開放系の二つに分かれます。密閉系の納まりは、防水性は良いが結露のリスクが高い。開放系の納まりは、通気性・換気性は良いが漏水リスクが高い。特にルーフバルコニーの場合は結露量が大きく、開放系の場合は浸入した雨水がサッシ上枠に滞留し、サッシフィンと防水テープの間から漏水する危険性があります。AHPC II は、十分な通気・換気をしながら防水できる、両方の問題を解決できる換気部材です。



一般資材との違い

一般仕様	バルコニー手摺壁の上端を窯業系サイディング端材なので密閉。熱気が滞留し、結露が起りやすい状況です。窯業系サイディングの水平面の施工は、NGです。
高耐久仕様	バルコニー手摺壁の上端に防水性能を確保した通気・換気部材の取付。通気換気措置をとることで躯体や通気層内が乾燥状態です。

製品の特徴

バッフルタイプは、換気部材とサイディング間にシーリングを施します。シールレスタイプは、換気部材にEPDMがついており、サイディング接続部のシーリングが不要です。笠木部分は換気部材と嵌合させることにより釘留等が不要となります。また、笠木自体に勾配がついており、水たまりを防ぎます。

耐用年数の根拠

カラーGL鋼板製であることから、CASBEEの屋根材の耐用年数として30年とされていることから、耐用年数を30年としています。

機能性の根拠

密閉型の一般仕様と通気・換気をしながら防水できる高耐久仕様を一棟の中に比較対象できる耐久性実証実験棟を建設しました。一般仕様では、竣工後2ヵ月で結露が確認できその後通年で観測したが、常に結露状態でありました。高耐久仕様では、結露は確認されず、常に乾燥状態であった。壁体内・小屋裏内の空間は外気との通気措置を取ることが重要です。バルコニーやパラペットの結露や漏水事故があると早期に躯体が腐朽してしまう。通気換気措置を取ることによって住宅の耐久性が向上します。



防水性試験



送風散水方式

散水試験送風口から直接的に風と雨を吹きつける防水試験。実際の風雨に近い試験条件下で防水性能を確認します。試験条件：散水量41/m²・min、試験時間10分



圧力箱方式

圧力差を利用した防水試験。細かな隙間の防水性を確認します。試験条件：散水量41/m²・min、試験時間20分

複合サイクル試験



塩水噴霧・乾燥・湿潤を繰り返し、大気腐食を促進して再現する試験。鋼板腐食やその他建材の相性による腐食を確認します。

特にアピール

- 2種類(送風散水方式と圧力箱方式)の防水試験を実施することにより防水性の確保。
- 耐久性実証実験棟での検証確認。
- 笠木板金での納まり提案。

LCC

高耐久仕様 : 1,200,000円
一般仕様 : 2,500,000円

提供価格

190,000円

免責事項・適用条件

鋼板メーカーの免責事項に準ずる。

設計・施工

- 完全ホールレス工法で漏水を防止。
- 換気部材一体型で施工性アップ。
- バルコニー・パラペット換気部材で通気層内、壁体内の熱気を排出。
- 腰壁換気部材による手すり壁内の熱気を排出。

株式会社ハウゼコ 商品開発部
電話 06-4963-8266
<https://hauseco.jp/>



ホームページはこちら